



2006 ~ 2007 年度
R I テーマ

LEAD THE WAY 率先しよう

国際ロータリー会長 ウィリアム B. ボイド (国籍・ニュージーランド)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ トキ八別府店 7F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事	鳴海淳郎	理事	後藤 隆	役員	会 長	上妻 浩	S A A	木村きぬ系
"	村津忠久	"	宮勝美		副会長	森 宗明	直前会長	平野英壽
"	溝部 仁				幹 事	近藤賢司		
"	梅津ヤヨイ				会 計	上妻 浩		

VOL . 19 - 39
2007 年 4 月 24 日

第 864 回 例 会

会報委員長 津末美代子

点 鐘 12:30
R S 四つのテスト
唱 歌 鯉のぼり
B . G . M アルハンブラの想い出
ふたりの天使
ラ・メール

会長の時間 副会長 森 宗明

私の会社は国道10号線沿いにあります。統一
地方選挙の期間中、選挙カーがひっきりなしに往
復します。ひたすら自分の名前を連呼する候補者
に「いい加減にしてよ」と言いたくなります。今
回の選挙で選挙カーを一切使わない候補者が居ま
した。変わった人だと思っていたのですが、なん
と蓋を開けてみれば上位当選。だったらなんの
ための選挙カーだろうかと思ったものです、つま
りは常日ごろどうしているか、ということなので
しょう。付け焼刃は駄目。日ごろの精進が何より
大切ということでしょうか。常日頃の精進を心が
けたいものです。尻に火がつかないと事に臨めな
い凡夫の私には大きな課題です。

幹事報告 幹事 近藤 賢司

- 雑誌月間 -

1. 本日の卓話
『私とロータリー雑誌とのかかわり』
鳴海淳郎会員
2. 4月18日(水)13:00~トキ八別府店7F「百
膳の夢」に於いて「新会員候補者のインフォ
メーション」を開催致しました。
出席者:上妻 浩会長(推薦者)、森 宗明

出席報告

高宮 勝美

本 日 の 出 席	会 員 総 数	23 名	
	出 席 者	12 名	
	事前メイクアップ	3 名	
	理 事 会 承 認	0 名	
	出 席 免 除	1 名	
	欠 席 数	7 名	
	出 席 率	54.55 %	
	前 々 回 の 訂 正	出 席 率	68.18 %
	4/10	事後メイクアップ	4 名
		理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名	
	修 正 出 席 率	90.91 %	
	連 続	- 回	
	通 算	- 回 100 %	

・メイクアップ

事前 村津(大分南)
平野、木村(地区協議会)
事後 鳴海(別府)
溝部、後藤(孝)、高田(地区協議会)
欠席 椀田、河村、上妻、溝部、小川、
津末、高田

副会長、河村貴雄会員増強委員長、
鳴海淳郎R情報委員長、赤嶺リサ親
睦活動委員長、近藤賢司幹事

3. 4月23日(月)12:00~ホテル白菊ボードル
ムに於いて「別府市内4RC会長・幹事会」
が開催され、上妻 浩会長、近藤賢司幹事が
出席致しました。



4. お祝い(次週5月1日例会は定款休会の為、本日お祝い致します。)

- 会員誕生日 梅津ヤヨイ会員(5月7日)
*記念品をお渡し致します。
結婚記念日 亀井 孝会員(4月29日)
*ご自宅にお花が届きます。

5. 例会変更のお知らせ

- 竹田RC 5月1日(火) } の例会は、定
豊後高田RC 5月1日(火) } 款第5条第1節
中津RC 5月2日(水) } (C)により休会
大分RC 5月8日(火)の例会は、大分
南RCとの合同例会の為 同日
18:30~大分全日空ホテルオア
シスタワーに時間・場所変更
大分南RC 5月11日(金)の例会は、大分
RCとの合同例会の為 5月8日
(火)18:30~大分全日空ホテル
オアシスタワーに日時・場所変更
大分1985RC 5月14日(月)の例会は、新入
会員歓迎会の為 同日18:30~
割烹にしおかに時間・場所変更
大分臨海RC 5月14日(月)の例会は、ご夫
人同伴例会の為 同日18:30~
大分全日空ホテルオアシスタワー
に時間変更
大分城西RC 5月16日(水)の例会は、野外
家族会の為 5月20日(日)九州
国立博物館に日時・場所変更
大分東RC 5月17日(木)の例会は、野外
家族会の為 5月13日(日)湯布
院に日時・場所変更
大分南RC 5月18日(金)の例会は、野外
家族会の為 5月13日(日)九州
朝日寄席に日時・場所変更

6. 次週の予定(*お間違えのない様ご注意ください。)

- 5月1日(火)
「定款第5条第1節(C)に基づき休会」
5月8日(火)「会員卓話」中島澄人会員
「会員コラム」小川雅代会員
*尚、当日は13:40~「第11回定例理事
・役員会」を行います。理事・役員の方
はご出席よろしくお願致します。

7. 本日の回覧

中津中央・豊後高田RC 週報

8. 本日の配布

- 週報863号
「私とロータリー雑誌とのかかわり」
鳴海淳郎R情報委員長より

スマイルボックス 委員長 後藤 孝弘

近藤会員

昨日、別府市内4ロータリークラブの会長・幹事会があり、次期の合同例会は別府中央が当番に決まり、他の3クラブより合同例会は夜の例会にしてもらいたいと提案されました。これは次期の会長・幹事が大変だなあと思いつつ、また飲みに行けるぞウッシシと、ほくそ笑む悪い奴、後藤 隆・後藤孝弘会員にスマイル!!

後藤(隆)会員

今日の例会は無口な人ばかりで、すごく静かですね。亀井さん、なんとかして下さい。

高宮会員

愛媛県の砥部町の砥部焼きの蔵出しに土・日・月を使って行って来ました。親子・孫の9人での大家族旅行でしたが、私は孫の守で疲れしました。

鳴海会員、本日の卓話、入会時に受けた講話を思い出し、楽しみにしています。

衛藤会員

今月も終わりですね。今日の鳴海先生の卓話、楽しみにしています。

梅津会員

「泣きボックス」4月20日午前8時45分、私のすぐ上の大好きだった兄が他界しました。兄は本桜が散って八重桜の咲くころ散って行くと、長年の教職員生活人生と作家の人生を歩んでまいりました。

「吾が人生に悔いはなし」と歌いながら「お母さん(妻のこと)ありがとう」と云って静かに家族の見守る中、他界しました。大分合同の連載小説や「灯」でほんとに皆様、お世話になりました。私はとても淋しくなりました。

大島会員

この時期、曇りがちな空を「卯の花曇り」と言いますよね。雨もよし、晴れもよし、曇りもよし.....。

日本は四季があり、季語があり、本当に風流で心豊かになりますね。ということで、スマイルします。

赤嶺会員

今日は、前回作動しなかったプロジェクターが見事に活躍していて良かったです。鳴海先生、卓話頑張ってください。



亀井会員

今日はさみしいナーッ!!

村津会員

今年末、12月16日(日)の「第31回大分第九の夕べ」に向けての結団式が、一昨日行われました。今年の参加登録団員216名中179名が出席し、平松守彦名誉会長からも激励の御挨拶を頂きました。

本日のホームクラブ欠席をお詫びしてスマイル。

後藤(孝)会員

今日は淋しい例会です。来週は皆さんの顔が多く見えるように!スマイルします。

4. 会長の時間(1988年2月)

同じく別府RC会長を務めた際、50回の例会での会長の時間における話の内容をまとめたもの。

5. ロータリー・テスト(1988年12月)

ロータリアン誌・1988年1月号の[Testing Your Rotary Knowledge]を参考にして作成した会員向けR-情報資料。

6. ロータリー・トピックス(1990年7月)

R-情報はロータリアンにとって不可欠の栄養源であるが、ただ本質を理解するだけでは時代遅れになる。そこで、前年7月より、RIニュースやロータリアン誌、ロータリーの友の中からカレント・トピックス的な記事をピックアップして毎週新しい情報を提供した。

7. 私のロータリーノート(1990年8月)

別府中央RC設立に際して、特別代表より新クラブの初代会長になった私は、すべては初めが肝心と思ってロータリーの基本に忠実に、クラブ奉仕に徹底することに努めたが、これは1年3ヶ月にわたる新しいクラブづくりの記録である。

8. ロータリーと共に(1995年3月)

1993年7月より1994年6月までのロータリー活動の記録(ロータリー情報委員長、雑誌委員長、ロータリーの友地区委員として)

9. ロータリーと新世代への奉仕(1996年9月)

1993年9月28日、当クラブ週報に「今ロータリーに訴える」と題して小文を掲載したが、現在日本が直面している青少年問題に対して、そのニーズを適確にとらえ、青少年奉仕のあり方を訴えた。

10. ロータリーと私(1997年11月)

別府中央RC創立以来、9年にわたるクラブライフを記述。この間、三度目の会長(1995~96)を務めたり、分区分代理(1996~97)を務めたりした。

11. “He Pro ts Most Who Serves Best”について思う(1998年7月)

シェルドンによる提言の発想と標語になるまでの経緯、Pro tsの意義を強調。

12. 子どもに夢と感動を与えよう(1999年1月)

1999年1月開催の大分県5分区分合同IMの分科会を担当するにあたり、表題をテーマに「友」44巻3号掲載のガバナー座談会の内容や、新聞紙上とくに目に止まった記事を参考にまとめたもの。

13. ハーバート・J・テーラーの「我が自叙伝」を読んで(1993年3月)

菅野元RI理事が訳されたハーバート・J・テーラーの自叙伝を読み、その感動を伝えたもの。

14. ロータリー物語(2000年1月)

一般の方にロータリーを知っていただくために、出来るだけわかりやすく書いたもの。

15. ロータリー財団の父 アーチ・C・クランプの人となり(2000年5月)

若き日のアーチ・クランプ、比類なきロータリーへの貢献、アーチ・クランプ語録。

16. 会員増強について考える(2000年5月)

1999~2000年度RI第2720地区大分5分区分合同IM(平成12年1月23日)におけるシンポジウム「会員増強について考える」でアドバイザーとしての発言を纏めたもの。

17. ロータリー礼賛(2001年1月)

30年にわたる私のロータリーライフの中で、とくに先輩ロータリアンやロータリー雑誌より得られた感動や知識を、体験に基づいてまとめたもので、将来への希望や願いも込められている。

18. ロータリー雑誌と私(2002年4月)

ロータリーに入会して30年以上過ぎた段階で、ロータリー雑誌から得られた数々の感動・インスピレーションをはじめ、4度目の「友」地区委員就任を前に、感想をまとめた。

19. ロータリー物語(改訂版)(2004年3月)

別府中央RC創立15周年と、2005年2月23日のロータリー創立100周年を記念して、ロータリー物語の改訂版を発行

ロータリー雑誌から得られた私の好きな言葉

1. To dream a new dream

(ロータリアン誌:1990年10月号より)

1990年6月、ロータリー財団管理委員会の会合におけ

卓 話

鳴海 淳郎

わたしとロータリー雑誌とのかかわり

ロータリアンとなって既に36年が過ぎました。思えば1970年9月別府ロータリー・クラブに入会して2年目のプログラム委員長をふり出しに、各委員長を次々に与えられるままに務め、1977~78年度には幹事を、1986~87年度には会長を務めさせていただきました。

この間、地区大会をはじめ地区協議会、IM(当時はIGF)などに出来るだけ出席し、それぞれの雰囲気や接しているうちに、ふとしたことからインスピレーションを感じ、ロータリーに愛着を感じるようになります。

入会まもなく、当時熱心な先輩ロータリアンによってロータリー研究会に誘われたことが、私にロータリーへの道を開いて呉れたものと感謝していますが、直接のきっかけは入会6年目のことでした。日田市におけるIGFで、今は亡き薬師寺和寿地区ロータリー情報委員長の言葉が妙にわたしの心を捉えました。それは、『ロータリーの例会は地域社会の縮図である』ということでした。

その後、わたしが1981~82年度ロータリー情報委員長の時、たまたま読んだロータリアン誌(1981年5月号)が『ロータリークラブ入会のしおり』を作るきっかけを与えてくれたわけですが、これが私とロータリー雑誌との本格的な取り組みの始めでした。

以下、「わたしとロータリー雑誌とのかかわり」ということで、今に至る経緯について述べてみたいと思います。

わたしとロータリー雑誌

以下、わたしの著書を紹介したいと思います。これは同時に、わたしのロータリー・ライフそのものであります。

1. ロータリークラブ入会のしおり(1981年7月)

ロータリアン誌・1981年5月号掲載の[A Rotary “lip chart”]を参考にして作ったもので、もとはアメリカ・カリフォルニア州・ウェストチェスターRCが会員候補者のための入会前オリエンテーションを目的にしたもの。

2. ロータリーはなにをしているか(1986年9月)

私が1986~87年度別府RC会長を務めた際、地域の人にロータリーというものを知ってもらうために、また、ロータリアン自身の反省も兼ねてつくったもの。

3. ロータリーの魅力(1987年12月)

ロータリーに入会して17年、この間幹事を務めたり、会長を務めたりしましたが、これまでの様々な体験を元に、ロータリーに関する色々な文献を参考にして、私なりに感じたロータリーの魅力についてまとめたもの。



るポリオ・プラス・プログラムに関する新声明より……
ポリオを単に制圧するのではなく、根絶するという新しい夢をもって、引き続き援助を必要とする諸国にワクチンを供給する。

2. Diving into Rotary

(ロータリアン誌：1990年10月号より)
1990～91年度コスタ会長の熱っぽく語った言葉。「真剣になってロータリーの飛び込んで下さい。そこで見つけた不思議なものを“wonders”で、ご自分の人生とまわりの世界を豊にしてください」(『友』では「球は自分の中に」として紹介されている)

3. Rotary: “The Best is Yet to be”!

(ロータリー未だし)
1853年より1972年までの19年間にわたり国際ロータリー事務総長の職にあったジョージ・ミーンズは、退任にあたって全世界のロータリアンに向けたメッセージをロータリアン誌(1972年1月号)に寄せたが、これはそのタイトルである。『友』1972年2月号に転載されている。

ロータリーの友地区委員として

1991～92年度、1993～94年度、2000～01年度、そして2002～03年度と4度、第2720地区ロータリーの友地区委員として務めさせていただきました。

1. 第2720地区「友」地区委員としての任務

- ・ 毎月のアンケートに答えること
- ・ 毎年奇数月の第1月曜(1月、5月は中旬)に開催される合同会議への義務出席

2. 「友」委員会出席の思い出

1) 故湯浅元 RI 副会長(友委員会特別顧問)にお会いしたこと

「友」委員会合同会議の席上何度かお会いする機会があり、その折、先生が学生時代から好まれた言葉“to know is to love”についてお伺いでき、「ロータリーを知れば知るほど、好きになる」と考えることについての了解が得られた。(当時93歳～95歳)

2) 故遠藤健三名誉会員にお会いしたこと

ある委員会で、合同会議までの時間をロータリー文庫で過ごした折、偶然にもお会いすることが出来た。(当時93歳) 日本建築業界の大御所的存在の氏は、岐阜 RC のチャーターメンバーで、創立より20年間幹事を務めた。また、「友」の初代編集委員長で、「友」の生みの親、名付け親として創刊に携わり、発展に多大の貢献をした。辞するに当たり、温故知新(ロータリーの今昔)という小冊子をいただいた。私が別府から来たことを聞いて、懐かしがっておられたが、氏は今問題の「中山別荘」の洋館を設計した建築設計施行会社「あめりか屋」で当時、工事監督をされた方であることを知って驚いた次第である。

ロータリー・ワールド・マガジン・プレス (Rotary World Magazine Press) について

ロータリーの雑誌には国際ロータリーの公式機関誌であるロータリアン誌 (THE ROTARIAN) と、国際ロータリー理事会が承認した公式地域雑誌があります。

2002年11月の理事会で、30の地域雑誌と『THE ROTARIAN』を総称して『Rotary World Magazine Press』と呼ぶことが決まりました。

これらは129カ国で読まれ、24ヶ国語で出版、合計流通部数は延べ750,000部とされています。

スライド供覧

1. これら公式機関紙ならびに地域雑誌の一覧
2. ロータリアン誌は変わる
3. 「友」誌は変わる
とくに「友」にみられるロータリー情報の展開について述べた。

ロータリーによって得られた不思議な力

…それは今の私の心境…私はロータリーを信奉する

ロータリーの奉仕哲学

“Thoughtfulness of and helpfulness to others”

「他人のことを思い、他人のために尽くす」

思いやりの心を人間のみならず、まわりの環境にも

“He Pro ts Most Who Serves Best”

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

わたしの好きな言葉

Nothing but the best …これ以上良いものはない

これ以上良いものはつけない

To dream a new dream …新しい夢をみようよ

4月は雑誌月間です。国際ロータリーの公式機関誌『THE ROTARIAN』及び30の地域雑誌の購読と、活用促進に役立つプログラムを実施する月間です。ロータリーの雑誌『ロータリーの友』など)に対する会員の認識を深め、それによってロータリー情報の普及を図ることが目的です。

当初、チェスリー・ペリー国際ロータリー初代事務総長によって創刊された、公式機関誌「THE NATIONAL ROTARIAN」が発刊された1911年1月25日を記念して、1月25日を含む1週間を雑誌週間としていましたが、1978～79年度から雑誌週間は4月に移され、1983～84年度から特別月間として、4月がロータリーの雑誌月間に指定されました。

Eメールとインターネットが通信手段として人気を高めていますが、殆どどのロータリアンにとって主たる情報源はまだ印刷物です。このため、ロータリーの雑誌月間はロータリアン誌や地域雑誌を見直すよい機会と言えます。

しかし、毎月定期的に個々のロータリアンに直接届けられる貴重な情報源であるロータリーの雑誌を読み、これを自分のものにするのに時節は問いません。毎月が雑誌月間というわけです。

(下記の標語はロータリアン誌1990年4月号掲載のもの)

“Every Month Is Magazine Month.”

会員コラム

鳴海 淳郎

不朽の名曲「荒城の月」に思う

瀧 廉太郎は東京で生まれ、3歳の時横浜に移り住み、父から西洋音楽の最初のふれ合いが与えられた。12歳の時、父の転勤で多感な少年期を竹田で過ごすこととなった。

山紫水明の竹田で修学、岡城址は絶好の遊び場であった。四季に移ろう自然の中から音楽の天分が育まれたものと考えられるが、廉太郎が竹田ではじめて手にしたものに尺八があった。

ある日の酒宴で尺八の吹奏を聴き、そのメロ

ディーの美しさに魅せられたと言う。「荒城の月」のあの美しい、そして、とくに原曲の哀切極まりないメロディーの中には、尺八の音律がにじみ出ていると言われているが、西洋音楽の流れの中に東洋の色彩が生かされて不朽の名曲が生まれた事実を忘れることは出来ない。

(2001年5月、竹田市に瀧 廉太郎記念館を訪ねた際、尺八を吹いている廉太郎少年像を前にして)

今回は、小川雅代会員です。